

北九州市立大学 同窓会 和歌山支部便り 6

拝啓：平成 26 年度最初の季号を発刊させていただきます。

年頭に当り支部長よりメッセージが届いていますので、次ページにお知らせします。

2013 年度は和歌山支部総会を 4 月に変更した事が中心でした。関西支部総会にはこれまでの支部長から初めて幹事長が出席して、秋の合同イベントも開催することが出来ました。その時には兵庫支部の方々とも交流をすることで話が付きまして、和歌山支部単独では難しいことも、近隣の支部との交流で和歌山から離れて生活されている会員にも朗報だと思います。これまでに何度も取り上げていました“母校訪問ツアー”を実現させる意味でも、良い選択だったと思っています。

もう一つは北友会・会報 109 号の特集として取り上げられていました学生アンケートがあります。同窓会に対するアンケートの集計の結果は、我々支部とも無縁ではありません。いかに同窓会の会員が支部や本部に対してどのように考えているかを知ることが出来ます。支部の方としたらいかにして会員が活動しやすく、又協力しやすくすることを考えなければいけないと思います。世代の違い、住む地域の違い、男女の違いを越えて活動出来る様にしたいと思っています。和歌山支部の皆さんに一つお願いがあります。『これからの時代支部が何をしてくれるのではなく、皆さん方が支部に対して、どんなことが出来るかを考えて頂きたいと思います。』そのような若い気持ちのご意見を期待しています。

和歌山支部の幹事会（会員であればよい）は、偶数月の第二土曜日に、汀丁にある“ロイヤルホスト”で AM 11 時～開かれています。ドリンクバーの 400 円があれば結構です。駐車場はあり 2 時間まで無料です。一部の幹事だけでなく、皆さんも顔を出してみてください。 敬具

第 5 回目の支部役員を紹介させていただきます。

会計監査： 岡野 俊一氏

経歴： 平成 21 年 8 月より現職

卒年： 昭和 36 年 商学部 商学科卒

ゼミ： 金子 信光先生

クラブ： 演劇研究会（顧問金子先生）

趣味： グラウンドゴルフ（健康維持のため）

職歴： 昭和 36 年より 3 年間小学校講師、以後 35 年間中学校教師

コメント

在学中は北方を離れず、3 度の引っ越しも学校の周辺で、足立山を眺め競馬場の庭を散策しました。お金がないので、友人に仕送りがあれば城野の Bar で安い酒を飲み、翌日からは学食の 30 円の食事をしました。

出来ない時水を飲んで空腹を凌いだ記憶があります。

バイトは視聴リサーチ、住金の溶鉱炉の煉瓦運び、祭りの神輿担ぎ etc. 貧乏の 4 年間でした。和歌山の最南端の串本から役員会や総会に来るのがだんだん難しくなりました。現在は地域の役員もしています。今から思えばかなり無茶な生活をしましたね。

